

報道関係者各位(企業情報)

2023年3月31日

植物由来の生分解性プラスチックを 使用した環境配慮型什器を全直営店舗に導入 温室効果ガスの削減に貢献 環境汚染の低減も期待

株式会社ファンケルは4月3日(月)から順次、全直営店舗に設置されているメイクの専用什器を、植物由来の生分解性プラスチック「PLA(ポリ乳酸)」^(※)を100%使用した環境配慮型什器に変更します。これにより、温室効果ガスの排出量削減に貢献していきます。

「PLA(ポリ乳酸)」は、トウモロコシなどに含まれるデンプンを原料とした植物由来の生分解性プラスチックです。焼却しても大気中の二酸化炭素を増加させないカーボンニュートラルのため、従来のメイク什器に使用していた化石燃料由来のプラスチックよりも環境負荷が低くなります。さらに、一定の環境下では、微生物により水と二酸化炭素に分解する生分解性を持っているので、マイクロプラスチック化されても自然環境の中で生分解し、環境汚染の低減も期待ができます。



当社では、2018年に「ファンケルグループ サステナブル宣言」を掲げ、現在と未来に生きる人々の笑顔と持続可能な社会を目指すために、「環境」「健やかな暮らし」「地域社会と従業員」を重点テーマにSDGsの貢献に取り組んでいます。昨年には、全直営店舗において、主原料が紙パウダーの「MAPKA[®]」^(※※)を使用した環境配慮型什器を採用し、温室効果ガスの排出量を従来と比べて約30%の削減に貢献しています。さらに、4月1日(土)から化粧品業界初のサーキュラーエコノミー(循環型経済)モデルを採用した紙袋を採用します^(※※※)。

また、一部の店舗では、段ボールを使用した什器の採用や、店舗スタッフの制服は、デザインの切り替え時にリサイクルを行い、資源として活用しています。今後も環境に配慮した店舗づくりを目指してまいります。

(※)ハイケム株式会社・安徽豊原集団有限公司から提供

(※※)「MAPKA[®]」は株式会社環境経営総合研究所の登録商標です。

「MAPKA[®]」を使用した国内初の環境配慮型什器を全直営店舗に導入

https://www.fancl.jp/news/pdf/20220615_mapkawoshiyoushitakokunaihatsunokankyohairiyogatajuuki.pdf

(※※※)「業界初 サーキュラーエコノミーモデルを採用した紙袋を全直営店舗で使用開始」

https://www.fancl.jp/news/20230005/news_20230005.html

本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先

株式会社ファンケル 広報部 陣内真紀

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202 / <https://www.fancl.jp/>